

# 但馬管内の景気動向調査

2016年10～12月期実績・2017年1～3月期見通し

【特別調査 2017年(平成29年)の経営見通し】

## 調査の概要

1. 回答数：436（前回：216）
2. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D.I）  
景気の各項目事項について、良いと感じている企業の割合から悪いと感じている企業の割合を引いたもの。

# 1. 概況（回答数436）

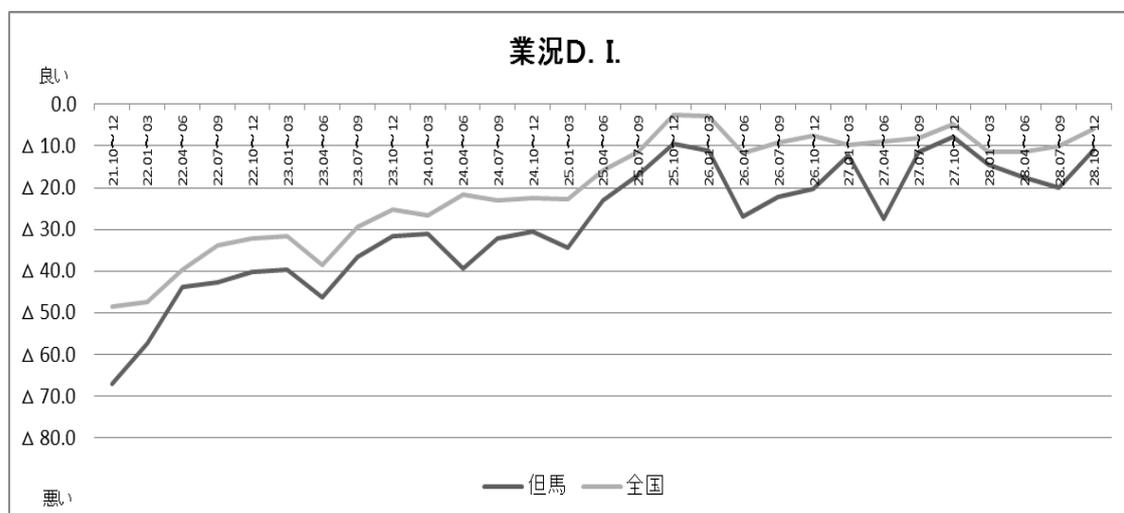
業況D.I.は、△10.8となった。人手過不足D.I.が△26.7、資金繰りD.I.が△18.7、借入金の難易度D.I.が△8.2、と悪化していることから全体の業況は低調なままである。業況D.I.は前四半期比で9.3ポイントの改善となっており、改善している業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業で、悪化している業種は、建設業、不動産業である。業況D.I.の1月～3月期の予想は△10.8と今回と同じであり、同様の状況が続くと思われる。

全体	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D. I.	△ 10.8	9.3	△ 10.8
前年同期比売上額D. I.	△ 10.1	1.5	-
前年同期比収益D. I.	△ 11.0	0.2	-
売上額D. I.	7.1	11.3	△ 6.7
収益D. I.	3.9	12.2	△ 11.3
資金繰りD. I.	△ 18.7	△ 0.5	△ 17.8
借入金の難易度D. I.	△ 8.2	△ 8.2	-
前期比残業時間D. I.	4.2	9.3	△ 2.8
人手過不足D. I.	△ 26.7	△ 7.6	△ 23.1

業種名 \ 時期	2016年 7～9月	2016年 10～12月	2017年 1～3月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



## 2. 製造業（回答数73）

業況 D.I.は5.5となった。売上額 D.I.が26.0、収益 D.I.が24.7となっており、これが景況感の改善に繋がったと思われる。前四半期比で15.2ポイントの改善。

業況 D.I.の1月～3月期の予想は4.1と若干悪化の見通し。これは、売上額 D.I.、受注残 D.I.の低下が見込まれるためだと思われる。

製造業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D. I.	5.5	15.2	4.1
前年同期比売上額D. I.	△ 5.5	△ 5.5	-
前年同期比収益D. I.	△ 2.7	△ 5.2	-
売上額D. I.	26.0	16.3	△ 2.7
受注残D. I.	15.1	15.1	△ 9.6
収益D. I.	24.7	22.2	△ 4.1
販売価格D. I.	11.0	△ 1.2	△ 1.4
原材料価格D. I.	31.5	19.3	17.8
原材料在庫D. I.	1.4	△ 8.4	△ 4.1
資金繰りD. I.	2.7	2.7	△ 2.7
借入金の難易度D. I.	11.0	△ 3.7	-
前期比残業時間D. I.	12.5	10.1	2.7
人手過不足D. I.	△ 34.7	△ 17.6	△ 30.1
現在の設備D. I.	△ 24.7	△ 12.5	-
設備投資D. I.	30.1	0.9	-
来期設備投資D. I.	35.6	△ 1.0	-

## 3. 建設業（回答数91）

業況 D.I.は△5.5となった。資金繰り D.I.が△29.7であることや人手過不足 D.I.が△30.8であることが景況感の悪化の要因であると思われる。前四半期比で2.9ポイントの悪化。

業況 D.I.の1月～3月期の予想は△18.7と悪化の見通し。これは、受注残 D.I.、施行高 D.I.、収益 D.I.、の大幅な低下が見込まれるためだと思われる。

建設業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D. I.	△ 5.5	△ 2.9	△ 18.7
前年同期比売上額D. I.	△ 6.6	19.0	-
前年同期比収益D. I.	△ 9.9	13.8	-
売上額D. I.	3.3	28.3	△ 24.2
受注残D. I.	△ 6.7	8.3	△ 41.8
施工高D. I.	4.4	26.9	△ 31.1
収益D. I.	△ 2.2	27.8	△ 31.5
請負価格D. I.	△ 13.5	△ 3.5	△ 18.9
材料価格D. I.	15.7	△ 6.8	16.7
在庫D. I.	1.1	6.1	△ 5.6
資金繰りD. I.	△ 29.7	△ 17.2	△ 29.7
借入金の難易度D. I.	△ 14.9	△ 9.9	-
前期比残業時間D. I.	△ 1.1	13.9	△ 6.6
人手過不足D. I.	△ 30.8	△ 13.3	△ 23.1
現在の設備D. I.	△ 11.2	1.3	-
設備投資D. I.	34.1	4.1	-
来期設備投資D. I.	31.9	△ 5.6	-

## 4. 卸売業（回答数44）

業況 D.I.は△14.0となった。資金繰り D.I.が△15.9であることや前年同期比売上 D.I.が△15.9となっており景況感は改善したが、低調なままである。前四半期比で17.5ポイントの改善となった。

業況 D.I.の1月～3月期の予想は△4.5と改善の見通し。これは、仕入価格 D.I.の低下や資金繰り D.I.の改善が見込まれるためだと思われる。

卸売業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D. I.	△ 14.0	17.5	△ 4.5
前年同期比売上額D. I.	△ 15.9	△ 4.5	-
前年同期比収益D. I.	△ 9.1	△ 0.5	-
前年同期比販売価格D. I.	△ 6.8	△ 1.1	-
売上額D. I.	4.5	24.5	△ 11.4
収益D. I.	4.5	30.3	△ 11.4
販売価格D. I.	2.3	2.3	△ 16.3
仕入価格D. I.	18.2	△ 1.8	△ 2.3
在庫D. I.	13.6	△ 4.0	2.3
資金繰りD. I.	△ 15.9	△ 1.6	△ 13.6
借入金の難易度D. I.	△ 4.5	1.2	-
前期比残業時間D. I.	△ 7.0	△ 4.0	△ 14.0
人手過不足D. I.	△ 14.0	△ 8.2	△ 14.0
現在の設備D. I.	△ 6.8	7.5	-
設備投資D. I.	31.8	0.4	-
来期設備投資D. I.	34.1	△ 3.1	-

## 5. 小売業（回答数67）

業況 D.I.は△34.3 となった。資金繰り D.I.の△39.4 や前年同期比収益 D.I.の△34.8 など全体的な景況感は低調なままである。前四半期比で 7.8 ポイントとの改善となった。

業況 D.I.の 1 月～3 月期の予想は△28.4 と改善の見通し。これは、販売価格 D.I.や資金繰り D.I.の改善が見込まれるためだと思われる。

小売業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D.I.	△ 34.3	7.8	△ 28.4
前年同期比売上額D.I.	△ 33.3	△ 9.6	-
前年同期比収益D.I.	△ 34.8	△ 0.6	-
前年同期比販売価格D.I.	△ 6.1	△ 8.7	-
売上額D.I.	△ 4.5	△ 7.1	△ 10.4
収益D.I.	△ 6.0	△ 0.7	△ 19.4
販売価格D.I.	△ 1.5	△ 1.5	7.5
仕入価格D.I.	13.4	△ 2.4	14.9
在庫D.I.	△ 3.0	△ 21.5	△ 3.0
資金繰りD.I.	△ 39.4	8.0	△ 28.8
借入金の難易度D.I.	△ 13.4	△ 2.6	-
前期比残業時間D.I.	1.5	14.7	△ 3.0
人手過不足D.I.	△ 16.4	△ 8.5	△ 14.9
現在の設備D.I.	△ 14.9	6.1	-
設備投資D.I.	23.9	△ 18.2	-
来期設備投資D.I.	22.4	△ 3.9	-

## 6. 不動産業（回答数15）

業況 D.I.は△20.0 となった。販売価格 D.I.の△21.4 や借入金の難易度 D.I.の△20.0 など景況感が低調である。前四半期比で 1.8 ポイントとの悪化となった。

業況 D.I.の 1 月～3 月期の予想は△13.3 と改善の見通し。

不動産業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D.I.	△ 20.0	△ 1.8	△ 13.3
前年同期比売上額D.I.	0.0	9.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 6.7	11.5	-
売上額D.I.	6.7	15.8	△ 13.3
収益D.I.	0.0	9.1	△ 20.0
販売価格D.I.	△ 21.4	△ 11.4	△ 14.3
仕入価格D.I.	△ 14.3	△ 1.8	△ 14.3
在庫D.I.	△ 7.7	△ 20.2	△ 7.7
資金繰りD.I.	△ 6.7	△ 15.8	△ 6.7
借入金の難易度D.I.	△ 20.0	△ 20.0	-
前期比残業時間D.I.	14.3	14.3	7.1
人手過不足D.I.	△ 21.4	△ 21.4	△ 21.4

## 7. サービス業（回答数146）

業況 D.I.は△9.7 であった。材料価格 D.I.が 25.9 と上昇したことや、資金繰り D.I.が△15.3 となったことから景況感は低調なままである。前四半期比で 8.0 ポイントの改善となった。

業況 D.I.の 1 月～3 月期の予想は△6.9 と改善の見通しで、材料価格 D.I.の低下が見込まれるためだと思われる。

サービス業	2016年10～12月期実績	前四半期比	2017年1～3月期予想
業況D.I.	△ 9.7	8.0	△ 6.9
前年同期比売上額D.I.	△ 3.4	△ 1.5	-
前年同期比収益D.I.	△ 6.2	△ 10.1	-
売上額D.I.	6.2	△ 1.7	6.2
収益D.I.	2.1	△ 7.7	2.1
料金価格D.I.	10.4	8.5	4.2
材料価格D.I.	25.9	14.1	20.4
資金繰りD.I.	△ 15.3	8.7	△ 15.3
借入金の難易度D.I.	△ 11.3	△ 15.4	-
前期比残業時間D.I.	6.9	6.9	△ 0.7
人手過不足D.I.	△ 29.2	14.8	△ 26.4
現在の設備D.I.	△ 19.3	8.7	-
設備投資D.I.	33.6	△ 1.7	-
来期設備投資D.I.	24.7	△ 8.7	-

### 業種別DI等の推移表

製造業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り					
27.07~09	1.9	7.4	3.7	18.5	5.6	13.0	△ 1.9	25.9	20.4	0.0	△ 11.1	△ 16.7	9.4	△ 14.8	40.7
27.10~12	9.8	9.6	3.8	9.6	3.8	15.4	11.5	28.8	1.9	5.8	11.5	△ 26.9	9.6	△ 13.5	30.8
28.01~03	2.0	25.5	7.8	9.8	3.9	△ 3.9	2.0	13.7	5.9	13.7	9.8	△ 21.6	12.2	△ 13.7	43.1
28.04~06	△ 1.7	△ 19.0	△ 15.5	△ 13.8	△ 10.3	△ 3.4	6.9	10.3	△ 1.7	5.2	8.6	△ 24.1	7.0	△ 20.7	64.4
28.07~09	△ 9.8	0.0	2.4	9.8	0.0	2.4	12.2	12.2	9.8	0.0	2.4	△ 17.1	14.6	△ 12.2	29.3
28.10~12	5.5	26.0	15.1	24.7	△ 5.5	△ 2.7	11.0	31.5	1.4	2.7	12.5	△ 34.7	11.0	△ 24.7	30.1
29.01~03	4.1														

建設業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格	材料価格	在庫						資金繰り
27.07~09	△ 1.9	△ 9.8	△ 7.8	16.7	13.0	14.8	0.0	△ 1.9	32.1	7.5	△ 11.3	△ 1.9	△ 15.1	△ 7.5	△ 5.7	40.7
27.10~12	△ 12.5	0.0	2.1	10.4	△ 4.2	8.3	△ 2.1	0.0	20.8	△ 6.3	△ 16.7	2.1	△ 29.2	△ 4.2	△ 8.3	25.0
28.01~03	△ 20.0	△ 15.1	△ 14.8	△ 24.1	△ 35.8	△ 23.1	△ 24.1	△ 20.4	1.9	7.7	△ 20.8	△ 7.5	△ 9.3	0.0	△ 9.1	35.7
28.04~06	△ 25.5	△ 33.3	△ 35.3	△ 15.7	△ 13.7	△ 13.7	△ 25.5	△ 13.7	21.6	△ 2.0	△ 17.6	△ 5.9	△ 17.6	△ 2.0	△ 5.9	57.3
28.07~09	△ 2.6	△ 25.6	△ 23.7	△ 25.0	△ 15.0	△ 22.5	△ 30.0	△ 10.0	22.5	△ 5.0	△ 12.5	△ 15.0	△ 17.5	△ 5.0	△ 12.5	30.0
28.10~12	△ 5.5	3.3	△ 6.7	4.4	△ 2.2	△ 6.6	△ 9.9	△ 13.5	15.7	1.1	△ 29.7	△ 1.1	△ 30.8	△ 14.9	△ 11.2	34.1
29.01~03	△ 18.7															

卸売業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り						
27.07~09	△ 10.9	6.7	0.0	35.6	△ 6.5	△ 2.2	28.3	43.5	17.4	△ 19.6	△ 4.3	△ 4.3	△ 2.2	△ 2.2	32.6	
27.10~12	△ 8.7	10.6	4.3	21.3	6.4	6.4	14.9	36.2	17.0	△ 10.6	4.3	△ 4.3	△ 6.4	△ 4.3	19.1	
28.01~03	10.0	7.5	12.5	12.5	10.0	15.0	0.0	7.5	12.5	5.0	△ 2.5	△ 17.5	0.0	△ 12.5	36.6	
28.04~06	△ 24.4	△ 15.6	△ 2.2	13.3	△ 20.0	△ 26.7	13.3	15.9	6.7	△ 4.4	0.0	△ 11.4	△ 7.0	△ 9.8	40.0	
28.07~09	△ 31.4	△ 11.4	△ 8.6	△ 5.7	△ 20.0	△ 25.7	0.0	20.0	17.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 5.7	△ 5.7	△ 14.3	31.4	
28.10~12	△ 14.0	4.5	4.5	△ 15.9	△ 9.1	△ 6.8	2.3	18.2	13.6	△ 15.9	△ 7.0	△ 14.0	△ 4.5	△ 6.8	31.8	
29.01~03	△ 4.5															

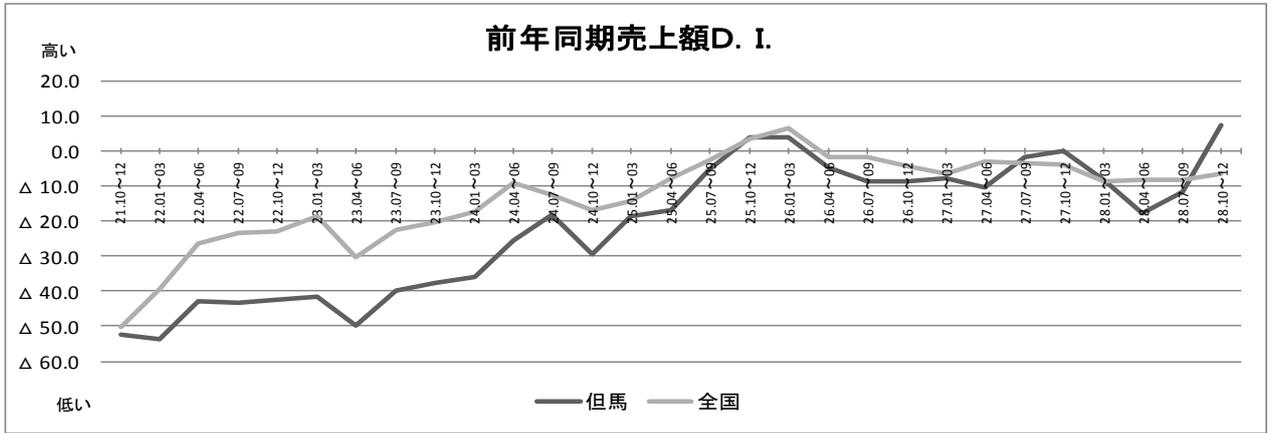
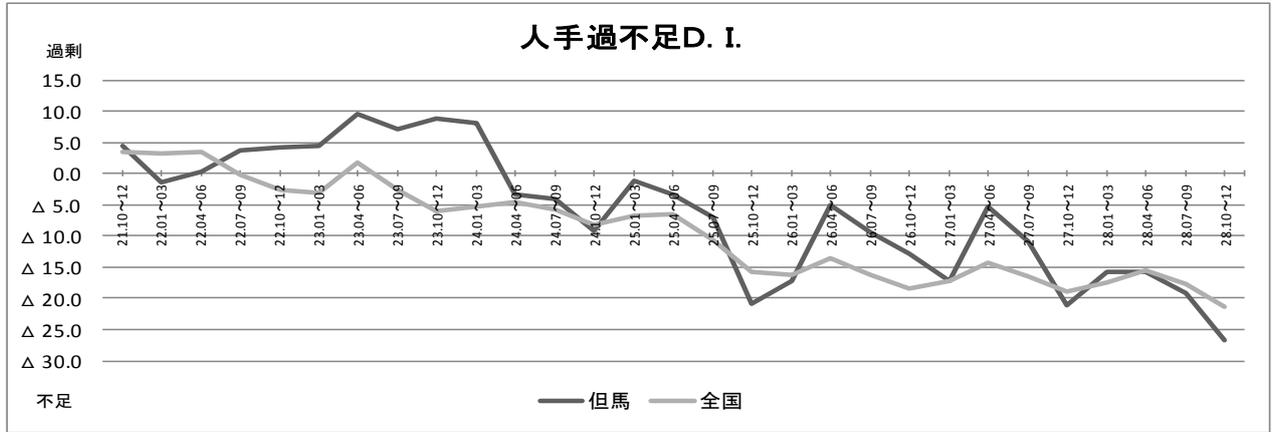
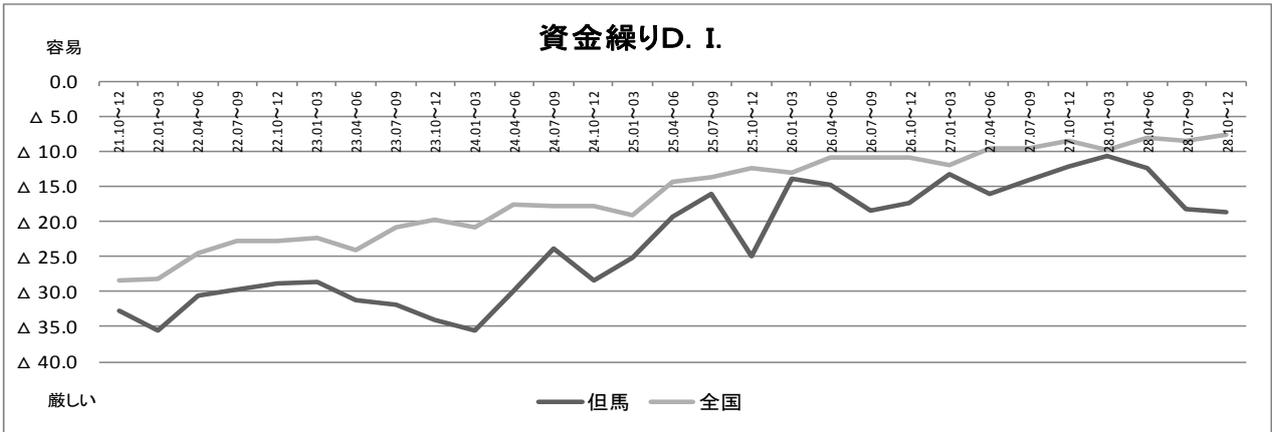
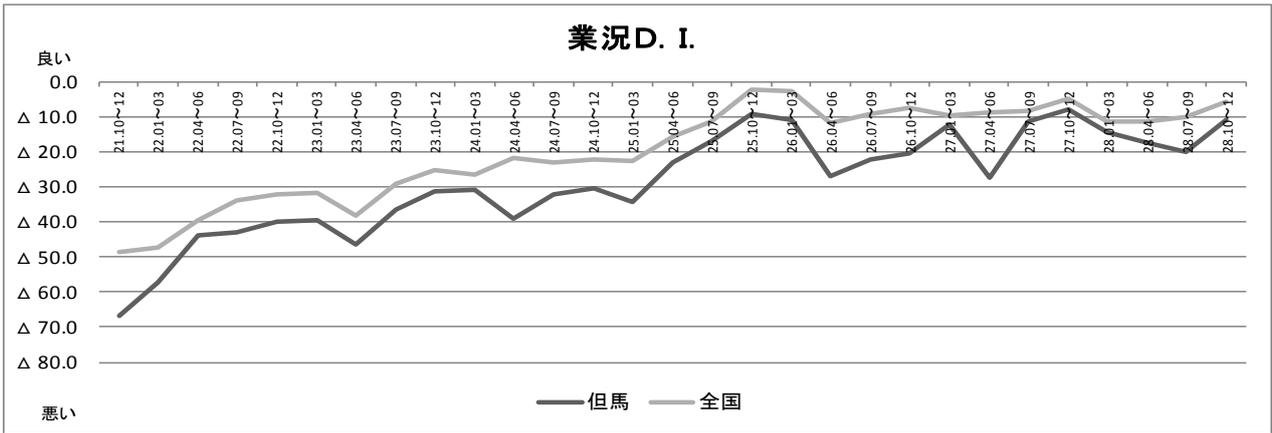
小売業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り						
27.07~09	△ 38.3	△ 20.8	△ 29.2	△ 4.2	△ 27.1	△ 25.0	0.0	20.8	12.5	△ 37.5	△ 6.4	4.3	△ 11.1	△ 6.3	8.3	
27.10~12	△ 29.8	△ 27.7	△ 31.9	6.4	△ 8.5	△ 6.4	△ 4.3	8.5	4.3	△ 44.7	0.0	△ 14.9	△ 14.9	△ 10.6	8.5	
28.01~03	△ 41.3	△ 34.8	△ 32.6	2.2	△ 32.6	△ 31.1	6.5	15.6	15.2	△ 37.0	△ 6.5	△ 4.3	△ 16.7	△ 13.6	32.6	
28.04~06	△ 41.9	△ 30.2	△ 27.9	9.3	△ 42.9	△ 35.7	△ 7.1	14.3	7.1	△ 33.3	△ 2.3	△ 7.1	△ 23.8	△ 11.9	30.2	
28.07~09	△ 42.1	△ 23.7	△ 34.2	2.6	2.6	△ 5.3	0.0	15.8	18.4	△ 47.4	△ 13.2	△ 7.9	△ 10.8	△ 21.1	42.1	
28.10~12	△ 34.3	△ 4.5	△ 6.0	△ 33.3	△ 34.8	△ 6.1	△ 1.5	13.4	△ 3.0	△ 39.4	1.5	△ 16.4	△ 13.4	△ 14.9	23.9	
29.01~03	△ 28.4															

不動産業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り				
27.07~09	△ 27.3	△ 9.1	△ 9.1	△ 9.1	△ 18.2	△ 27.3	△ 9.1	27.3	△ 18.2	△ 9.1	0.0	0.0	
27.10~12	△ 15.4	7.7	△ 7.7	0.0	0.0	△ 23.1	△ 7.7	0.0	0.0	0.0	△ 15.4	△ 15.4	
28.01~03	△ 7.7	△ 7.7	△ 7.7	△ 7.7	△ 38.5	△ 8.3	0.0	7.7	△ 23.1	7.7	△ 7.7	0.0	
28.04~06	15.4	0.0	15.4	0.0	△ 15.4	△ 15.4	△ 8.3	△ 8.3	0.0	7.7	△ 7.7	0.0	
28.07~09	△ 18.2	△ 9.1	△ 18.2	△ 9.1	△ 9.1	△ 10.0	△ 12.5	12.5	9.1	0.0	0.0	0.0	
28.10~12	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	△ 6.7	△ 21.4	△ 14.3	△ 7.7	△ 6.7	14.3	△ 21.4	△ 20.0	
29.01~03	△ 13.3												

サービス業	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り								
27.07~09	△ 7.9	6.3	1.6	11.1	△ 3.2	△ 4.8	11.3	△ 6.3	3.2	△ 20.6	△ 6.5	△ 18.0	41.3			
27.10~12	0.0	3.2	1.6	11.1	12.7	9.5	25.8	△ 3.2	7.9	△ 28.6	△ 11.1	△ 14.3	22.2			
28.01~03	△ 20.7	△ 21.1	△ 22.8	1.7	△ 5.2	12.1	31.0	△ 10.3	8.6	△ 25.9	△ 19.3	△ 22.4	22.4			
28.04~06	△ 10.6	△ 1.5	△ 6.0	△ 28.4	△ 35.8	△ 7.5	11.9	△ 17.9	11.9	△ 16.7	△ 4.5	△ 25.8	43.3			
28.07~09	△ 17.6	△ 2.0	3.9	7.8	9.8	2.0	11.8	△ 24.0	0.0	△ 44.0	4.2	△ 28.0	35.3			
28.10~12	△ 9.7	6.2	2.1	△ 3.4	△ 6.2	10.4	25.9	△ 15.3	6.9	△ 29.2	△ 11.3	△ 19.3	33.6			
29.01~03	△ 6.9															

全業種	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り							
27.10~12	△ 7.8	0.0	△ 3.7	5.9	5.6	△ 12.2	5.2	△ 21.1	△ 5.9				
28.01~03	△ 14.4	△ 8.1	△ 10.7	△ 7.3	△ 11.9	△ 10.7	1.1	△ 15.6	△ 4.7				
28.04~06	△ 17.4	△ 17.7	△ 15.2	△ 22.5	△ 24.6	△ 12.3	3.6	△ 15.7	△ 4.8				
28.07~09	△ 20.1	△ 11.6	△ 11.2	△ 4.2	△ 8.3	△ 18.2	△ 5.1	△ 19.1	0.0				
28.10~12	△ 10.8	7.1	3.9	△ 10.1	△ 11.0	△ 18.7	4.2	△ 26.7	△ 8.2				
29.01~03	△ 10.8												

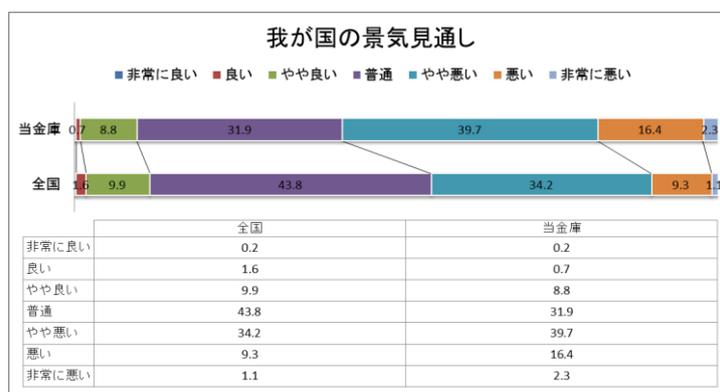
全国	前年同期に比べた				
	業況	売上額	収益	資金繰り	人手
27.10~12	△ 4.8	△ 3.8	△ 6.2	△ 8.5	△ 18.9
28.01~03	△ 11.4	△ 8.7	△ 10.6	△ 9.9	△ 17.4
28.04~06	△ 11.4	△ 8.3	△ 9.6	△ 8.1	△ 15.6
28.07~09	△ 10.1	△ 8.2	△ 9.2	△ 8.5	△ 17.6
28.10~12	△ 6.0	△ 6.7	△ 8.2	△ 7.7	△ 21.4
29.01~03	△ 10.7				



## 《特別調査》 2017年（平成29年）の経営見通し

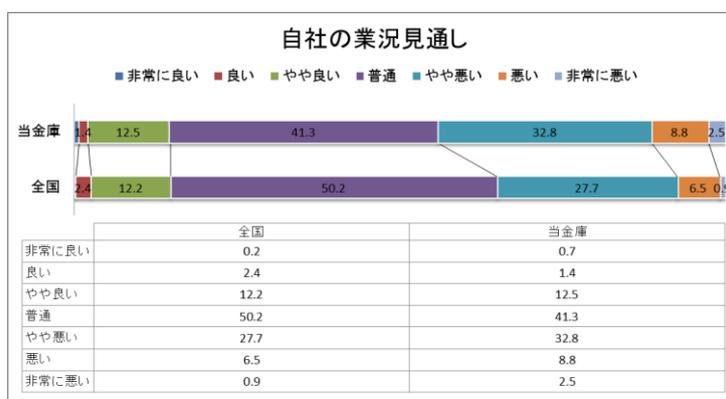
### 【問1】我が国の景気見通し

2017年の我が国の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が9.7%、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が58.4%となった。「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引くと、▲48.7と全国の▲32.9と比べ15.9ポイント低く全国に比べ慎重な見方が強い。



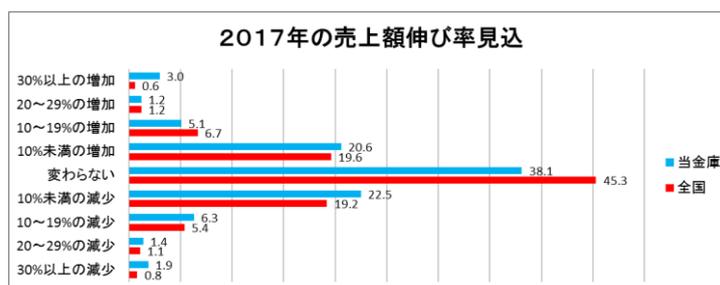
### 【問2】自社の業況見通し

2017年の自社の業況見通しについては、「良い」とする回答が14.6%、「悪い」とする回答が44.1%となった。「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引くと、▲29.5と全国の▲20.3と比べ9.2ポイント低くなっており、こちらも全国と比較し慎重な見方が強い結果となっている。



### 【問3】2017年の売上額伸び率（対前年比）について

2017年の売上額伸び率について、「増加－減少」でみると増加29.9%－減少35.1%となり減少の回答が5.2ポイント多くなっている。全国では減少より増加が1.6ポイント上回る結果となっている。



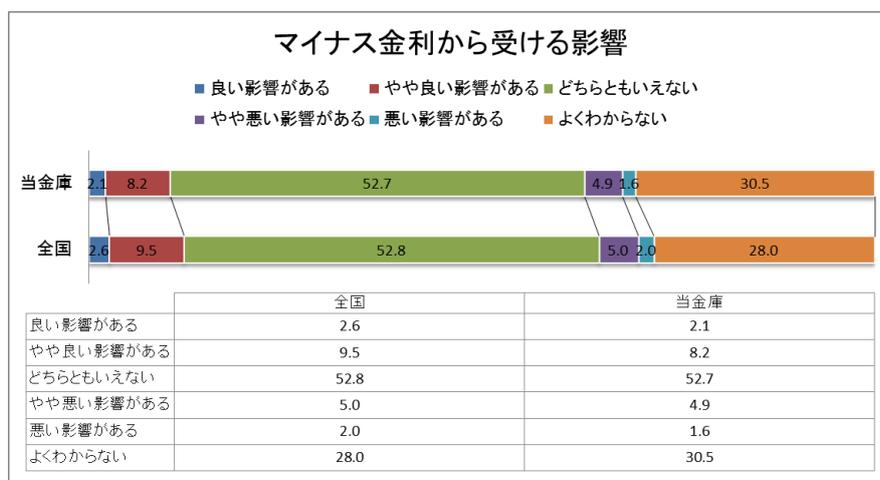
## 【問4】自社の業況が上向く転換点

全国よりも1.7ポイント低いですが、すでに上向いているとする結果が12.3%となっている。しかし、3年超、および業況改善の見通しは立たないとする回答が全国より多く、業績改善については二極化している状況であると考えられる。



## 【問5】マイナス金利から受ける影響

日本銀行が実施しているマイナス金利から受ける影響については、「良い」(「良い影響」・「やや良い影響」の合計)と回答する割合が10.3%、「悪い」(「悪い影響」・「やや悪い影響」の合計)が6.5%となり、「良い」が「悪い」をやや上回った。ただし、「どちらともいえない」が52.7%、「よくわからない」が30.5%と、合わせて8割の企業でマイナス金利の影響を判断しかねている結果となった。



以上

### 参考文献

・ 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 「第166回全国中小企業景気動向調査」